

2024年1月11日
川崎重工業株式会社
東洋エンジニアリング株式会社
日揮グローバル株式会社
千代田化工建設株式会社

液化水素サプライチェーンに関する FEED 業務について 川崎重工業とエンジニアリング会社3社が協定書を締結

川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本 康彦、以下「川崎重工」）と東洋エンジニアリング株式会社（代表取締役 取締役社長 細井 栄治、以下、「TOYO」）、日揮グローバル株式会社（代表取締役 社長執行役員 Farhan Mujib、以下、「日揮グローバル」）、千代田化工建設株式会社（代表取締役会長兼社長 榊田 雅和、以下、「千代田化工」）の4社は、日本水素エネルギー株式会社（以下、「JSE」）が取り組む液化水素サプライチェーン^{※1}に関する FEED 業務をより効率的に進めるため、JV 協定書を締結しました。

4社は、川崎重工をリーダー会社として、豪州での液化・出荷基地（ビクトリア州ヘイスティングス地区）における、水素液化設備（60トン/日×2基）や陸用の液化水素貯蔵タンク（1万m³×5基）、大型液化水素運搬船の出荷基地など、商用化の実現を見通すために必要なこれら設備に係る FEED（基本設計）業務を実施し、JSE が取り組む液化水素サプライチェーンの商用化実証を行う上で、最適な主要設備・仕様・コストなどを精査します。

今後は、液化水素サプライチェーンの普及に向けた動きに対し、川崎重工が持つ液化水素の貯蔵・荷役・運搬技術と、TOYO、日揮グローバル、千代田化工が持つ豊富な海外でのプラント設計・建設実績と技術的知見を集結し、本 FEED 業務を加速することで、日本が目指す 2050 年までのカーボンニュートラル実現に向けて貢献していきます。

※1：JSE は、現在 NEDO グリーンイノベーション基金事業「液化水素サプライチェーンの商用化実証」に取り組んでおり、これは 2020 年 12 月 25 日に経済産業省が関係省庁と策定した「2050 年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づき、カーボンニュートラルを実現する水素の大量消費社会を見据え、クリーン水素サプライチェーンの本格的な社会実装に向けて行うものです。

関連リンク

グリーンイノベーション基金事業、第1号案件として水素に関する実証研究事業に着手
— 商用水素サプライチェーンの構築と Power to X の実現を目指す —（2021年8月26日付）

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101471.html

「液化水素サプライチェーンの商用化実証」が NEDO グリーンイノベーション基金事業で採択
～2030 年 国際液化水素サプライチェーン構築に向けた具体的な前進～（2021 年 8 月 26 日付）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_210826-1.pdf

以 上